

《 第19回定時株主総会 》

2020年6月24日に当社第19回定時株主総会を開催し、2019年度決算が承認されるとともに新役員体制が決定しました。今年の株主総会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、株主の方へは可能な限り会場へのご出席を自粛頂き、書面による議決権行使をお願いしました。また、報告事項の説明を簡素化し、議事の時間を短縮しました。



新役員体制および業務分担

役職名	氏名	業務分担
代表取締役社長	湊 好 男	
取 締 役	儀 保 稔	総 務 部 長
取 締 役 (新任)	長 崎 昌 浩	技 術 営 業 部 長
取 締 役 (新任)	崎 濱 正 夫	経 営 管 理 責 任 者
取 締 役	成 底 勇 人	(非 常 勤)
取 締 役	藤 原 義 幸	(非 常 勤)
監 査 役	小 橋 川 健 二	(非 常 勤)



宮本取締役、内野取締役退任

総会終結の時をもって、宮本取締役および内野取締役が退任されました。



▲左から内野 求さん、湊社長、宮本 朝一郎さん

2019年度決算について

【売 上】

主力事業のガス供給事業は、期中に2件のお客さまへ供給を開始し、販売数量は31,626t(前期比8.7%増)、お客さま総数は20件となりました。

可倒式風力関連事業は、沖縄電力所有の既設設備7基の保守点検業務に取り組むとともに、トンガ王国向けODA案件における可倒式風力発電設備の建設工事を予定通り昨年6月に竣工しました。

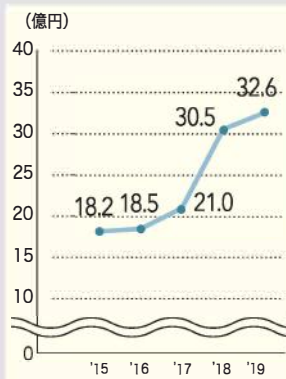
これらの結果、売上高は3,260百万円(前期比6.9%増)と5期連続で創業以来最高を達成しました。

【収 益】

一方、新規設備投資による減価償却費増、および業務拡大に伴う人件費増により、経常利益は21百万円の損失となりました。

参考

《売上高推移》



《ガス販売量推移》



社員紹介

技術営業部 電機課

棚原 亮
(たなはら りょう)

国立沖縄工業高等専門学校
2011年3月卒
入 社 日 2017年2月1日
・第2種電気工事士
・クレーン運転士



可倒式風車のある波照間島にて



2歳になる息子と

Q1. 入社を教えてください。

学校卒業後、愛知県内の物流機械メーカーに6年勤めていましたが、「地元沖縄での社会貢献」がしたいと沖縄県内の企業へ転職を決意、当社の先進的なエネルギーサービス事業に惹かれ、入社を決めました。

Q2. 仕事内容について教えてください。

可倒式風力発電設備を担当しており、設備の定期点検から部品調達・納入、補修工事が主な業務です。

Q3. 仕事を進める上で気をつけていることは何ですか？

台風時に傾倒させて設備被害を避けることのできる可倒式風車の特性を最大限に生かした稼働率の向上に向けて、不具合への迅速な対応、予防保全に努めています。もちろん、作業時の安全管理を徹底して行うことは基本中の基本となります。

Q4. 仕事のやりがいについて教えてください。

可倒式風力発電設備は、再生可能エネルギーとして、環境負荷軽減に寄与することはもちろんのこと、高コストである沖縄県の小規模離島における燃料費の削減にも寄与し、担当業務の社会的責任は非常に大きいものだと考えており、やりがいとなっています。

Q4. 趣味を教えてください。

筋トレにはまっています。今年1月から週1回のパーソナルトレーニングに通っており、先日我が家にホームジムを設置しました。また、お酒が好きで毎晩適度に晩酌を楽しんでいます。今年度中に、体脂肪率 20%未満を目指して頑張っています。

新入社員
奮闘記

初の離島出張（波照間可倒式風車保守業務） 照屋 智也（技術営業部 電機課）

4月に入社し、2カ月間は主に自家発の点検業務に携わり、可倒式風車の業務は今回の波照間島が初めてです。期間は11日間、不安と期待が入り混じる中、点検作業開始！机上のイメージとは異なる設備のスケールに圧倒され、慣れない作業に悪戦苦闘しつつも先輩方の指導のもと、無事

に作業を終えることができました。

初の出張を終え帰宅し、家族から『お疲れさま』の言葉をかけてもらった時は達成感を実感しました。これからまだまだ覚えることは多いですが、早く先輩方に追いつけるよう掛けず頑張ります！



▲波照間可倒式風車補修作業



▲先輩方との休憩風景（熱中症対策は万全です！）

編 / 集 / 後 / 記 /

◎先日、久しぶりにやんばるの海を見るため、沖縄本島北部までドライブに出掛けました。県をまたぐ移動自粛が全面解除されたこともあり、レンタカーも少しずつ見かけるようになりました。観光客も気軽に来られる日常に戻れますように・・・(H)

◎コロナの影響で暇を持て余した息子が料理に目覚めました。炒飯、餃子、パスタなど、試行錯誤で作り、「うまい！天才」「う～ん、味が薄い！」と楽しんでいる様子・・・帰宅時に夕飯が並んでいた時は感動しました。外出自粛が続く気が沈みがちですが、マイナスばかりではないと前向きになりました。(N)

01 【お客さま】

ざまみダンボール様へLNG 供給開始 (初の本島南部のお客さまへの供給)

2月より、糸満工業団地内にりゅうせき様が設置されたLNGサテライトを通じて、ざまみダンボール様へLNGの供給を開始しました。初めての本島南部へのLNG供給となります。今後、本サテライトを通じて工業団地内のお客さまへの供給を予定しています。



02 【お客さま】

沖縄科学技術大学院大学(OIST)様へLNG 供給開始

4月より、第4研究棟へLNGの供給を開始しました。沖縄グループの(株)リライアンスエナジー沖縄が同棟熱源設備のエネルギーサービスを行っております。今後、同社と連携し、OIST様のエネルギー環境の向上に注力します。



▲LNGサテライト及び第4研究棟

03 【業務】

天然ガス供給事業開始5周年

5月1日(金)、ガス供給事業開始、5周年を迎えました。事業関係先の皆さまのご尽力を賜り、天然ガス及びLNG供給のお客さまは21件となりました。今後も、お客さまへのエネルギー安定供給に努めるとともに、更なる販売拡大を目指します。

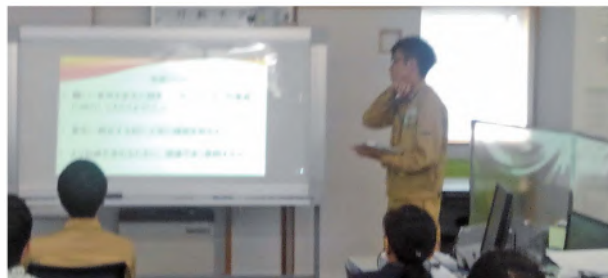


▲吉の浦火力発電所内の出荷ゲートにおいて

04 【社内研修】

社会人1年目を振り返って

6月16日(火)に2019年度入社の宮平 樹、神里 叶夢による社内発表会を開催しました。発表会では、1年間の業務で学んだことについて、失敗談を交え報告がありました。先輩からの質問に対してもしっかり答えるなど、1年間の成果が表れた発表会となりました。



▲電機課 宮平 樹氏



▲ガス業務課 神里 叶夢氏

新部長紹介

取締役総務部長 儀保 稔

① 自己紹介

東京オリンピックが開催された1964年生まれの今年56歳。最近の趣味はジャンクショップ巡りで、激安スピーカーと十数年間放置していたカーコンボを組合わせポータブルのラジカセに再生して楽しんでいます。

② これまでの仕事で印象に残っていること

昨年、トンガ王国向け風車建設、LNG サテライト・コージェネレーション建設、および牧港天然ガス供給センター建設が同時進行する中、社員総力を結集して完遂させたこと。

③ これからの抱負

社の発展と社員の成長、そして働きやすく働きがいのある職場づくりに尽力したい。



トンガ王国の遺跡にて

PROFILE

- ・H01/4 沖縄電力(株) 入社
- ・H20/7 同 発電部 金武火力発電所 発電課長
- ・H22/7 同 発電部 電源開発室課長
- ・H28/7 当社取締役技術部長 (現 技術営業部)
- ・R02/6 現職

取締役技術営業部長 長崎 昌浩

① 自己紹介

最近、築34年になる自宅のプチ修繕に目覚め、ホームセンターでの材料選びから楽しんでいます。

② これまでの仕事で印象に残っていること

八重山支店在籍中の2016年10月に、落雷により発生した停電事故と台風時の停電に対し、お叱りを受け、お客さまと距離の近い現場の厳しさを痛感しました。

③ これからの抱負

「どうせやるなら楽しく!」を心掛け、皆さまと共に頑張ってもらいます。

八重山支店時代
石垣島海神祭にて
(本人後列中央)

PROFILE

- ・S56/4 沖縄電力(株) 入社
- ・H23/7 同 発電部 金武火力発電所 次長
- ・H27/3 同 八重山支店 支店長代理
- ・H29/7 同 発電部 火力業務センター長
- ・H30/7 同 発電部 発電運用グループリーダー
- ・R02/6 現職

当 社 業 務 紹 介

【第3回目】

技術営業部 電機課 渡嘉敷太陽光発電事業紹介

渡嘉敷島において、「国立沖縄青少年交流の家」に隣接する村有地 6,600㎡をお借りし、出力 198kW の太陽光発電所を設置のうえ、平成 26 年 6 月より発電事業を行っています。設備の運用においては、保安規程に基づいた定期点検や故障発生時の補修対応など、沖縄企業の地元電業所員の皆さまと連携した設備の維持管理を行う体制を構築しています。なお、本発電所の年間発電量約 250MWh は、渡嘉敷島の年間需要量の約 5%に相当します。



▲渡嘉敷太陽光発電所全景(空撮)



▲作業風景(受電設備点検)

05 【トピックス】

沖縄電力による「吉の浦－牧港ガス導管(仮称)」の敷設について

6月10日(水)沖縄電力は、天然ガスの普及拡大を目的に、吉の浦火力発電所から宜野湾市の西普天間地域を通り、浦添市に至るガス導管を整備することを発表しました。当該ガス導管の敷設により、お客さま側でのサテライト設備への投資が不要となることから、沖縄本島中央部において、より広にお客さまにクリーンで価格安定性に優れた天然ガスをご利用いただける環境が整備されることとなります。

また将来的には、他エネルギー事業者との連携により一般家庭においても都市ガスのご利用ができるようになるなど、本島中央部のエネルギー環境の向上につながる事が期待されます。

当社では、今後、当該ガス導管を活用し、導管沿線のお客さまへの天然ガスの販売拡大に注力して参ります。